

## 助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付:2017年4月3日  
事業ID:2016339570  
事業名:シーバードプロジェクトの推進  
団体名:特定非営利活動法人日本青バイ隊  
代表者名:理事長 柳 龍太郎 印  
TEL:0955-27-0118  
事業完了日:2017年3月27日

事業費総額	1,264,753円	(事業の実施にあたり生じた費用の総額(支払台帳の合計金額))
自己負担額	0円	(事業費総額が助成金額より多い場合の差額)
助成金額	1,264,753円	(事業実施のために使った助成金の総額)

### 事業内容:

#### シーバード設置候補地の視察と発足式への参加

7月8日SB芦屋開所式へ野口理事、山口事務局長、幹事団体4名で参加した。  
7月19日SB壱岐開所式へ前日入りし山下理事、木下理事、山口事務局長3名で参加した。  
10月21日SB猪苗代開所式、前日入り山口事務局長1名と幹事団体で参加した。  
11月8日SB一ツ葉開所式へ前日入り木下理事、山口事務局と幹事団体で参加した。

#### シーバードジャパン総会、幹事会への参加

2016年4月15日のシーバードジャパン総会に出席する為に、14日に東京へ向かった。  
総会前日に日本財団ビルにてシーバードジャパン会長、シーバードジャパン事務局、日本財団、PW協会、WRMA日本青バイ隊が参加し幹事団体会議を行った。

#### 2016年7月8日のシーバード芦屋開所式に出席する為に、7日福岡へ向かった。

博多にてシーバードジャパン会長、シーバードジャパン事務局、日本財団、PW協会、日本青バイ隊が参加し幹事団体会議を行った。

2017年2月16日幹事団体会議に出席する為に、東京へ向かった。シーバードジャパン会長、シーバードジャパン事務局、日本青バイ隊が参加し幹事団体会議を行った。

2017年3月18、19日SBかごしまISOとSBあしきたへ柳理事長、山下理事、木下理事3名で出向きSBバイクの状態確認と活動状況の確認を行った。

## 1. 事業目標の達成状況:

### 【申請時の目標】

- 1.主に新しく設立されたシーバード拠点2件へのアドバイスを通じ、プロジェクトにおける公務救難機関など他の連携した事業活動が増加することを旨とする。
- 2.全国のシーバード拠点が自立的運営を達成できるよう、ファンドレイジングなどのサポートを行う。
- 3.模範的に活動している拠点の視点から、シーバード設置候補地6件を現地視察する。
- 4.幹事団体として、シーバードジャパン総会、幹事会、発足式へ参加し、これまで現場で培ってきた豊富な経験をもとに積極的に発言する。

### 【目標の達成状況】

1. 主に新しく設立されたシーバード拠点2件(SBかごしまISO、SBあしきた)へのアドバイスを字視し、プロジェクトにおける公務救難機関など他の連携した事業活動の増加につなげることができ、目標を達成できた。詳細は以下の通りであった。

3月18日土曜日

#### SBかごしまISO 現状視察

2艇配備されているが現場で1号艇のみを確認した。2艇目はSBかごしまの山下さんの自宅に保管されているとのことであった。98時間使用しているのに状態は非常に良好です。バッテリー交換等の資金が不足しているとのことなのでイベント警戒などの時に経費を負担していただけるように交渉することを進めた。海保等と連携がないという点もアドバイスした。

#### SBあしきた現状視察

年間200日、100時間使用中のSBバイクの外観は着岸で桟橋等に当たった傷があるもののエンジンは綺麗に整備されているし、エンジンルームも綺麗でした。ハイシーズンになるとバイクと人員が不足気味とのこと、まだWRMA等のレスキュー講習を受けていないので受講したい。受講すれば自信を持って活動ができるのご意見でした。シーバードジャパンフォーラムの時にWRMAへの橋渡しを行うこととした。

2. 幹事団体として、また、発祥の地としてSBフォーラム、新規拠点候補地視察やSB開所式でファンドレイジングについてサポートし、目標を達成できた。

3. 模範的に活動している拠点の視点から、シーバード設置候補地6ヶ所を現地視察するという目標については4ヶ所にとどまり、達成できなかった。

4. 幹事団体として、シーバードジャパン総会、幹事会、発足式へ参加し、これまで現場で培ってきた豊富な経験をもとに積極的に発言するという目標については達成できた。

## 2. 事業実施によって得られた成果:

2拠点視察した結果、SBかごしまISOは海上保安部、水難救済会、小安協などつながりがなく連携できるようサポートや、資金調達のアドバイスが必要だと判明した。また、SBあしきたはピーク時

のバイクと人員不足等を九州の SB 拠点と連携が取れるような仕組み作りを行うことが必要だと判明した。このように拠点の問題点とその解決策について見出すことができた。

新しい拠点も4箇所増えて 38 拠点となった。

### 3. 成功したこととその要因

視察を行った結果問題点の掘り起こしができたことは非常によかったし解決できるように努力する。やはり現地に足を運ぶことで見えることがあるとわかった。

### 4. 失敗したこととその要因

6箇所の視察を計画していたが4箇所にとどまった。メンバーの仕事が忙しく動けなかったことともあるし、シーバードジャパン事務局と連携があまり取れていなかった。今後は頻繁に事務局と連絡取り合って視察にいける体制を作っていきたい。

---

事業成果物:

7月 SB 芦屋、7月 SB 壱岐、10月 SB 猪苗代、11月 SB 一ツ葉 4か所への開所式参加

収支計算書  
(2016年4月1日から2017年3月31日まで)

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	決算額	受入済額	未調達額	備考
日本財団助成金収入	1,620,000	1,264,753	1,264,753	△355,247	
自己負担	180,000	0	0	0	
収入合計	1,800,000	1,264,753	1,264,753	△355,247	

支出の部

科目	予算額	決算額	支出済額	未払額	備考
旅費交通費	1,800,000	1,054,995	1,054,995		
会議費	0	50,000	50,000		
渉外費	0	94,246	94,246		
雑費	0	65,512	65,512		
支出合計	1,800,000	1,264,753	1,264,753	0	